



初心者向け基礎から実戦ルールまで

XAUUSD

ゴールド

スキャルピング

実戦マニュアル

短期売買の考え方・資金管理・メンタル管理



TOPIC
01

本書の目的

この本で伝えたいこと



- ✓ これは必勝法ではなく、今の自分が実践しているゴールド短期売買の考え方をまとめたものです。

? なぜこの本を作るのか



リスナーに『どんな手法ですか?』とよく聞かれるため。



配信で毎回説明するより、形にして分かりやすく残したかった。



自分の考えを整理し、あとで見返せるようにしたかった。

🎯 この本の立ち位置



紹介するのは、あくまで今の自分が実際に使っている手法。



相場環境が変われば、やり方も変わる可能性がある。



そのまま真似する本ではなく、考え方を理解するための本。

💡 ワンポイント

手法は変わっても、土台は変わりません。まずは考え方の軸を持つことが大切です。

🛡️ 変わらない土台

1 チャートの見方



2 資金管理



3 メンタル管理



この3つは相場が変わっても、ずっと重要だと考えています。



TOPIC
02

トレードする通貨

結論、メインはゴールド



- ✔ ドル円やビットコインも見ることがありますが、実際にメインで触るのはほぼゴールドです。

☆ 結論

ゴールド一択

- ✔ 一番相性がいい
- ✔ 値動きが大きい
- ✔ 短期売買で値幅が取りやすい



👑 ゴールドの特徴



値動きが大きい
他の銘柄に比べて
短時間でも大きく動く
ことがある。



リバウンドも大きい
一度動くと戻りも強く、
反転のチャンスが
多い。



スキャル向き
短期で何度もチャンスが
あり、スキャルピングと
相性が良い。

02 なぜゴールドなのか

- ✔ 短時間で大きく動くことがある。
- ✔ 値幅に対して取引コストが気になりにくい。
- ✔ リバウンドも大きく、短期売買のチャンスが多い。
- ✔ ノイズは大きいですが、自分の性格と手法には合っている。

03 他の銘柄はどうか

ドル円



値動きは比較のおだやか。
スプレッドは狭くコストは
低いが、レンジが多く
ジリジリ動きやすい。

ビットコイン



動きはあるが、スプレッドや
手数料は重め。長めの
スキャ〜デイトレ向きで、
今はほとんど触っていない。

だからこそ、
ロット管理は必須です。



💡 ひとつこと

銘柄ごとに値動きの性格は違います。
自分の性格と合うものを選ぶことが大切です。



TOPIC 03

狙う相場

エントリーする相場・見送る相場の判断基準



✓ エントリーの精度を上げるための、シンプルな判断基準を紹介します。

01 どのような相場に入るか

- ✓ 値動きが大きい時。
- ✓ スプレッドがあるので、値幅が狭すぎると手数料負けする。
- ✓ ただし、大きすぎても危険なので、その場合は見送るかロットを減らす。



☆ POINT



値動きが大きい相場を狙うのが基本



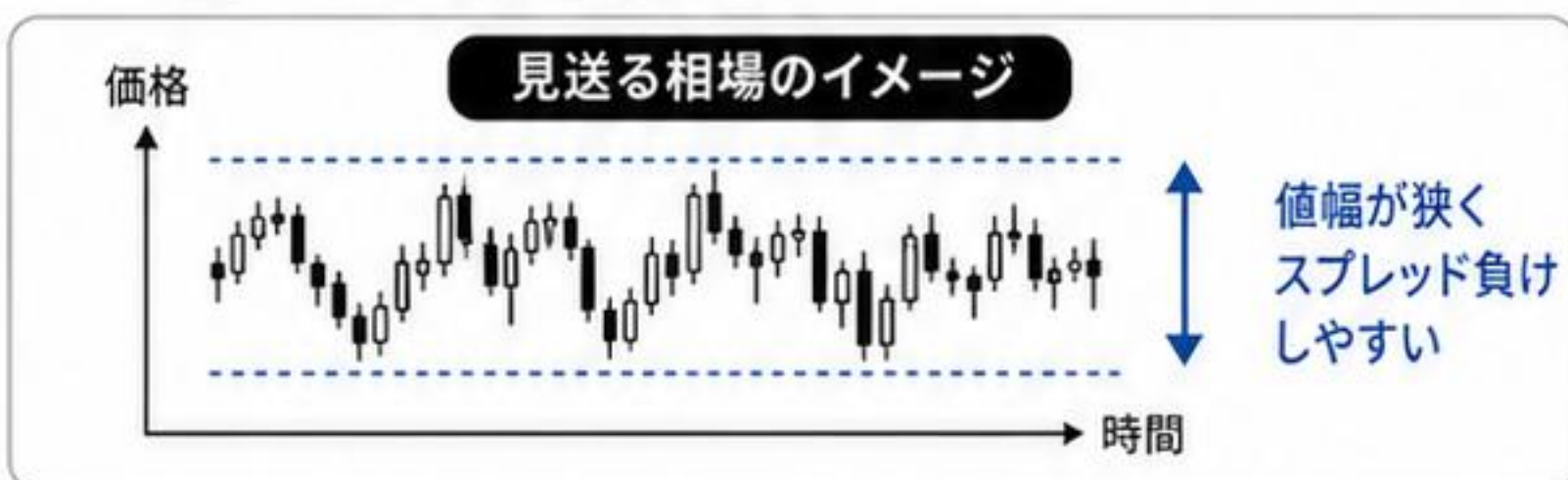
狭すぎる相場はスプレッド負けしやすい



大きすぎる相場はロット調整が見送り

02 どのような相場は見送るか

- ✓ ボラがないレンジ相場。
- ✓ スプレッドがあるので、値幅が狭すぎると手数料負けする。
- ✓ ボラがあるレンジ相場は逆張りでも入る時もある。



ワンポイントアドバイス

無理に入らず、優位性のある相場だけを狙うことが結果につながります!



TOPIC 04

手法の前提

インジケータはATRのみ

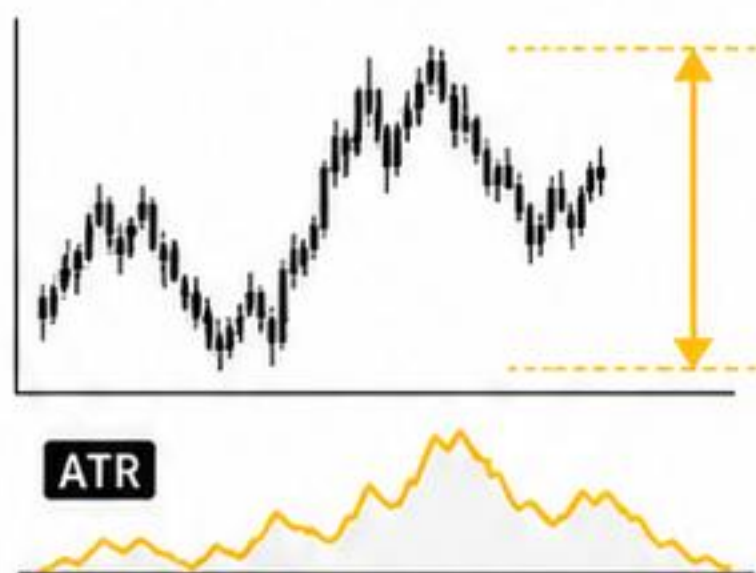


✔ チャートをシンプルに保ち、プライスアクションを最優先で判断します。

01 使うインジケータ

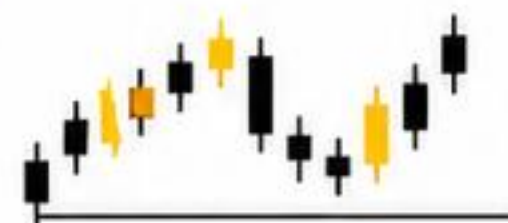
ATRのみ

ATRはボラティリティの大きさを見るために使います。



☆ 一番重視するもの

1 プライスアクション



値動きそのものから市場の意図や勢いを読み取る。

02 ATRを見る理由

- ✔ ATRが大きい時は、短時間のスキャルピングがやりやすい。
- ✔ その反面、大きくやられる時もあるので注意。
- ✔ ATRが小さくても、ジリジリとトレンドが出ている時は逆張りで逆行しやすい。

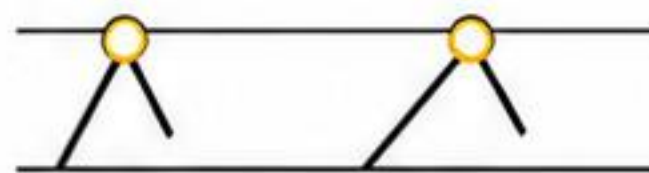
ATRのイメージ
ATRが大きい
= 値動きが荒い



ATRが小さい
= 値動きが穏やか



2 水平線 (高値・安値)

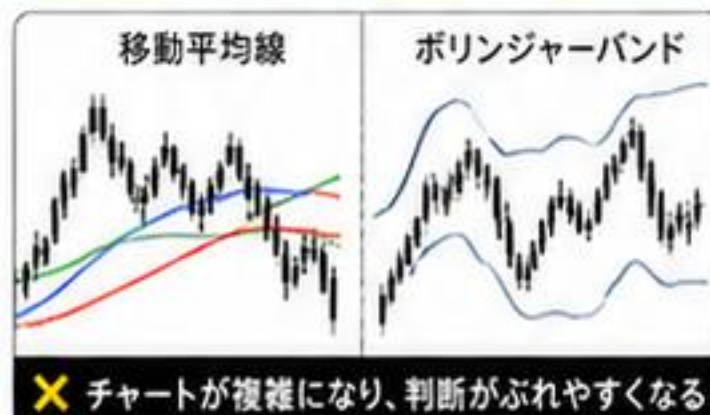


市場参加者が意識する重要な価格帯を確認する。

03 入れないもの

- ✘ 移動平均線
- ✘ ボリンジャーバンド

目安にはなるが、自分の場合はチャートが見にくくなるため基本は入れません。



✘ チャートが複雑になり、判断がぶれやすくなる

3 市場のセンチメント



多くのトレーダーの心理やポジションの偏りを把握する。

まずチャートの形で判断し、その後に位置と市場の空気感を見ます。



考え方のポイント

インジを増やすより、見るポイントを絞った方が自分は判断しやすい。シンプルだからこそ迷いが減ります。



TOPIC 05

順張り

流れに乗る基本エントリー



✔️ トレンドが出ている時、1分足と上位足の方向がそろう場面を狙います。

01 どのような時に順張りするか

- ✔️ トレンドが出ている時
- ✔️ 1分足で流れを感じる時
- ✔️ 上位足も同じ方向に流れている時

順張りのイメージ



☆ POINT

1 流れに逆らわない

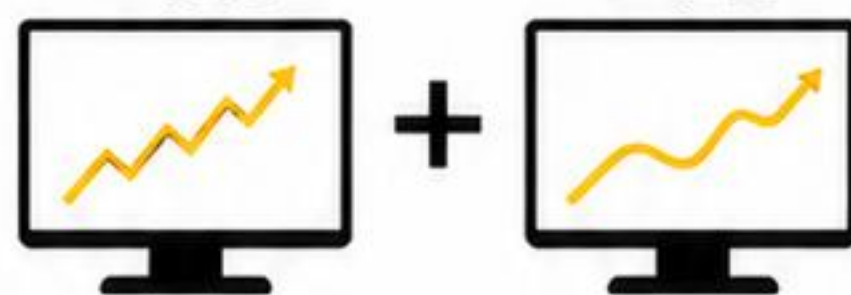


迷ったら順張りを優先。

2 上位足も確認

1分足

上位足



1分足だけで決めない。

02 見るポイント

✔️ 高値安値の更新



高値・安値を切り上げているかをチェックする。

✔️ 押し目・戻り



流れの中での押し目や戻りは絶好のエントリーチャンス。

✔️ 市場のセンチメント



多くの参加者が同じ方向を意識していると、流れが続きやすい。

3 天底を狙いすぎない



伸びる流れに素直に乗る。

💡 ワンポイント

順張りは、流れが出ている時ほど機能しやすいです。
無理な逆張りより、まずは素直に流れに乗る意識を持ちます。



TOPIC
06

逆張り

行き過ぎ・レンジで狙う反転



✓ 方向感がない時や、行き過ぎたと感じる時にだけ逆張りを使います。

01 どういう時に逆張りするか

- ✓ 1分足で方向感がない時
- ✓ ボラがあるレンジ相場
- ✓ 行き過ぎたと感じる時

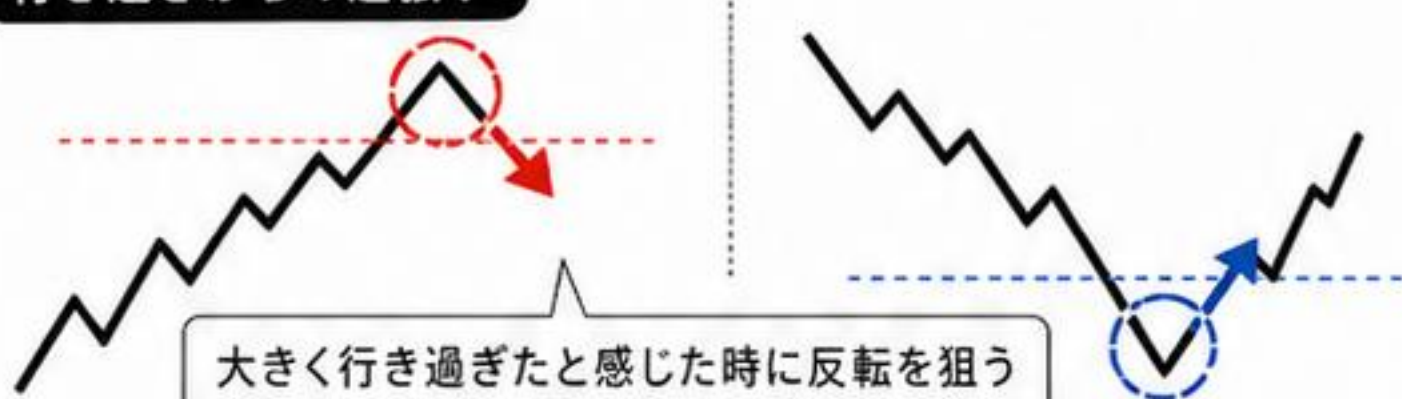
逆張りのイメージ

レンジ相場での逆張り



上限で売り、下限で買うイメージ

行き過ぎからの逆張り



大きく行き過ぎたと感じた時に反転を狙う

02 逆張りで気をつけること

- ⚠ 強い流れの時は逆らわない
トレンドが出ている時は、逆張りは危険。
- ⚠ 直近高値安値抜けは危険
ブレイクした後は、さらに伸びることが多い。
- ⚠ 嫌な予感がしたら様子見
迷いや違和感がある時は、無理に入らない。

💡 ワンポイント

逆張りはハマれば強いですが、流れが強い相場でやると大きく逆行しやすいです。迷う時は見送る判断も大切です。



☆ POINT

1 レンジ向き



方向感が薄い時に機能しやすい。

2 行き過ぎを待つ



中途半端な位置では入らない。

3 強いトレンドは危険



流れが強い日は無理をしない。